

●/人 広報



謹賀新年



組合員皆様のご健勝とご多幸を  
お祈りいたします  
本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます

1 月号  
NO.687



# 新年あいさつ

伊達市農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 哲

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方にはご家族共々に新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。また、昨年一年間、農協事業運営に対し、ご指導と御協力、ご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます次第です。

昨年は農業用資材、燃料、電気料が暴騰し、その中で営農は厳しいものがあり、かつ、2024年問題で流通経費が増え、加えて円安で輸入資材の肥料等が下がりず利幅が少ない状況でした。天気も雨と早魃に偏った状況で組合員の皆様は大変ご苦労されたと思います。ただ、一昨年ほどの猛暑にはならず、皆さん暑さ対策もされて概ね

順調な作物もありましたが、短期勝負の野菜は厳しい時期が多くありました。資材課として少しでも安く供給し、生産販売課では少しでも高く売る努力を続けていたところです。

今年も厳しい状況が続くと思われます。信用事業、共済事業を含め販売、購買、営農事業等各農協事業は組合員にとって無くてはならない事業と考え、組合員の皆様の付託に応えられるように役職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも組合員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、どうか新しい年が組合員の皆様にとって最良の年でありますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

## 謹賀新年



副組合長  
松本 喬一



理事  
永田 聡



理事  
舟迫 昌光



理事  
唐澤 健康



理事  
上野 正人



理事  
原 一晴



理事  
近井 一夫



理事(学識経験)  
上田 孝弘



理事(学識経験)  
大友 敏幸



監事  
森田 浩行



監事(員外)  
山崎 博司





# 謹賀新年

伊達市農業協同組合

代表監事 菅原俊和

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族と共に、穏やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。また、日頃よりの農協事業へのご協力、ご支援に感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、世の中が通常の状態に戻るものと期待して始まったものの、蓋を開けてみると、農業を取り巻く情勢は、ウクライナ紛争の長期化による肥料、燃料、資材等の値上がり、そして、気候変動が原因とも言われる、夏場の早魃、猛暑など、これまでに経験した事のない被害を受ける事になりました。それに加えて、ここ二、三年で顕著になって来たのが、野菜の病害虫による被害です。自然相手の生業である農業で、日本中が大きな被害を受ける状況は、前代未聞の事かも知れません。社会環境、自然環境どちらの面から見ても、農業がやり辛くなって来た様に感じられます。

この様な状況から見ても、今まで以上に組合員の皆様の営農活動にとって、農協の果たすべき役割が、益々重要になって来ていると思います。組合員の皆様の負託に応えられる様に、役職員一丸となり、頑張る覚悟です。

ところで、伊達農協の経営状況ですが、組合員の皆様のご協力と職員の頑張りにより、黒字決算になってはいますが、各部門の連結による収支で、かろうじて、黒字になっている状況です。ほぼ慢性的な赤字になっている、マーケット事業、野菜販売事業は、中央会からの指摘事項になっています。監事会としても、今までと同様に重要課題として、理事会に改善要望を求めています。

マーケット事業は、当農協に於いては、極めて重要な事業であり、続けて行かなければならないと考えております。毎月皆さんのお手元に届いている、5%の割引券の利用率も、4割弱程度という大変残念な状態です。店舗の改善すべき問題点を御指摘くださり、割引券の利用率を上げて頂く事も、事業の改善に大きく繋がります。宜しくお願い致します。

今年も、農業、農協を取り巻く状況は厳しいものになる事が予想されますが、農協事業へのより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、組合員の皆様にとって最良の年になる事をご祈念し、年頭のご挨拶と致します。





# 年頭のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所 長 吉 田 忠

新年おめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては希望に満ちた新春を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。農業改良普及センターにおいても日頃より皆様のご理解とご協力を頂き、今年も無事に新たな年を迎えることができました。

令和六年を振りかえると一昨年につづき高温年となりましたが、経験を踏まえた早期防除や品種選定等の生産管理に取り組まれたことから、農畜産物の収量および品質は平年並の出来秋を迎えることができました。一方、農業経営に影響する飼肥材・燃油等は高止まりが続き、厳しい一年となりました。このような中で、皆様の努力の積み重ねによって一年を終えることができたことに対し敬意を表します。

さて、先にも触れましたが、気象経過、農業生産状況を振り返ると融雪が早く四月から十月の積算気温と日照時間は平年を上回り、各作物の生育は順調に進み、管理作業も適期に行われたことから、秋まき小麦の収穫では収量・品質共に良い出来となりました。葉菜類・果菜類では病害虫による被害がみられたものの、早期対応により品質低下や収穫量への影響を最小限に留め、努力が実った年でした。米では順調な生育を確保でき収量はほぼ平年並み、高品質米を得られました。畜産では個体の市場価格低迷が続いていますが、酪農では暑熱対策の早期取組によって順調な回復がみられ、一昨年の経験が生きた年となりました。

また、新たな生産振興策としてサツマイモの栽培取組が三年目となり、全道に先駆けた採苗農家の育成と供給を通じ、コスト削減、安定生産

に向け今後が益々期待されるところです。

これら農畜産物の生産、農業経営の安定を通じた地域振興に向け、私たち農業改良普及センターも微力ながら皆様のお役に立ちたいと考えております。

結びになりますが、新しい年が皆様にとって健康と幸せに満ちた一年となりますよう、お祈り申し上げますと共に、豊穰の秋を迎えられるよう、心からご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。職員一同



- 《総務部》
- 総務課・審査課
- 《信用部》
- 金融課
- 共済課
- 《営農生産部》
- 生産販売課
- 畜産課・営農指導課
- 《購買部》
- 生産資材課
- 農機燃料自動車課
- 生活課
- 《内部監査室》
- 《事業推進室》
- 登別支所



## 令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」

「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間に農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

JAグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しす

る力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第31回JA北海道大会が開催され「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・JAに対する理解を深めていただき、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めてまいりましょう。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われております。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

## JA青年部



### ■ 全道JA青年部大会

12月5日(木)~6日(金)の二日間、全道JA青年部大会が札幌パークホテルで開催され、部員7名が参加しました。大会では「JA青年の主張大会」「活動実績発表」「動画で発信!農の魅力コンテスト」「地区対抗アームレスリング大会」などが行われ、「活動実績発表」では今回日胆地区を代表して関内地区の大和田康太さんが「さつまいも栽培から食農教育へ」と題し当農協青年部で行われている、サツマイモ栽培と学校教育現場における食農教育の活動について発表しました。



実績発表のようす

### ■ サツマイモ実績報告会

12月6日(金)、JA伊達市本所で令和6年度サツマイモ実績報告会が開催されました。報告会にはサツマイモ生産者をはじめ、伊達市役所や普及センターなどの関係機関合わせて約20名が参加し、令和6年度の収量報告や栽培及び販売に関する課題、令和7年度の取り組み事項などが報告されました。今年は15件の生産者によって約5ha作付けされ、定植苗数約13万本のうち11万本を市内生産者によって育苗、採苗することができました。しかし定植後の活着不良や正品率の悪化、稼働者の確保など課題が多く残る結果となりました。



報告会のようす

## JA女性部



### ■ クリスマス用リース制作

12月9日(月)、JA伊達市女性部ホビークラブでは、部員11名が花工房シュシュ制作監修のもと、クリスマスにピッタリなリース

の制作を行いました。今回は動画を見ながらの制作となった為、難しい箇所は何度も繰り返し見直しながら作り上げ、思い思いの飾り付けを行っていきました。参加した部員からは「とっても綺麗で素晴らしいものができたのでまた来年も作りたい!」との声が上がっていました。



製作のようす



完成したリースを持って集合写真

## ■ 役職員コンプライアンス研修

12月10日(火)、役職員向けコンプライアンス研修会をJA伊達市本所にて実施しました。JA北海道中央会より島津遼真氏を講師としてお招きし、過去10年におけるJA北海道全体の不祥事件発生件数や発生傾向、JAグループ北海道不祥事ゼロ運動~不祥事根絶に向けた重点3か年対策~の取組中間総括、情報セキュリティの必要性、インサイダー取引などについての説明がありました。各JAではコンプライアンス・プログラムを策定・実践し不祥事ゼロ運動へ取り組んで参ります。



研修会のように

## ■ 野菜生産部会協議会及び各部会定期総会

12月17日(火)、伊達市農協野菜生産部会協議会及び各部会の定期総会がJA伊達市本所にて開催されました。今年度は、前年の猛暑の教訓として暑熱対策事業の取組や品種の見直しを図り高温障害の被害を軽減することができましたが、病害虫や7月中旬頃の日照不足により影響が出てくる作物も見られました。

最終的には前年対比で出荷量100%、販売金額107%とほぼ前年通り推移しました。

次年度においては、第9次振興計画の重点品目を中心とした野菜全般の生産力・販売力の更なる強化を図り、農家所得の向上と重点品目の産地化を目指し協議会運営を進めていきたいとしました。



総会のように

## ■ 農事組合長会議

12月17日(火)、令和6年度農事組合長会議がJA伊達市本所にて開催されました。各地区の連絡協議会会長及び農事組合長が集まり、佐藤哲組合長、堀井敬太市長、吉田忠普及センター所長らの挨拶の後、令和6年度の農協事業推移や決算見込み、地域農業振興計画及び第9次JA中期経営計画の取り組み経過について、中期計画等の実践に向けた組合員との対話と意思反映についての目標と実績などが報告されました。



会議のように

北海道  
限定

日本農業新聞 電子版

# 冬の大感謝 キャンペーン

抽選で50名様にQUOカードPay

**10000**円分  
当たる!!



応募締め切り 2025年3月17日月

2024年4月から2025年2月末までに、  
日本農業新聞電子版※を契約いただいた方全員にチャンス!

※紙から電子版への切り替えも含まれます

## 応募方法

STEP1 日本農業新聞電子版を  
ご契約(6カ月以上)

電子版の  
お申し込み 月額 **2,403円**

お近くのJAまたは、日本農業新聞公式サイトからお申し込み

日本農業新聞公式Webサイトからお申し込みできます

<https://www.agrnews.co.jp/page/subscribe2>



STEP2 キャンペーンサイトから  
ご応募ください



キャンペーンサイト

<https://hokkaidoyouth.wordpress.com/>

この二次元バーコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

STEP3 当選者には後日、登録したメールアドレス宛に  
デジタルギフトが届きます。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS  
**日本農業新聞**  
<https://www.agrnews.co.jp>

キャンペーンの  
詳しい内容は  
裏面をご覧ください



# 日本農業新聞 電子版の特徴



## アプリでさらに便利に

スマホやタブレットで、お好きな時間と場所で記事が読めます。速報などプッシュ通知でお知らせします。

## 電子版のみの追加コンテンツも

「自然を生かせ! 山田君」など電子版独自のコンテンツも続々追加中です。また、新しい農業技術や農業資材を映像と音声で詳しく紹介しています。

## 過去3カ月分を記事検索

見逃した記事や、知りたい記事などを検索できます。

## クリップ機能で記事を保存

気になる記事を最大200件まで保存。「まとめ」読みに役立ちます。

## 便利な紙面ビューアー

紙面と同じレイアウトで閲覧でき、拡大・縮小も自由に調整。全国のすべてのエリア版もご覧いただけます。

## 手軽に市況情報をチェック

市況情報サイト「netアグリ市況」で野菜、果実、切り花など各産地の取引データが閲覧できます。過去の価格との比較など、農家経営に役立つデータを手軽に確認できます。

## キャンペーン概要 締め切り 2025年3月17日(月)

### プレゼント内容

抽選で50名様に  
QUOカードPay  
10,000円をプレゼント

※QUOカードPayは、コンビニエンスストアをはじめ、ファッション、家電量販店、ドラッグストア、ファストフード、カフェ、書店など幅広い業態の店舗でご利用いただけます。(QUOカードPayが使えるお店: <https://www.quocard.com/pay/store/>)

※QUOカードPayはスマートフォンの画面にバーコードを表示させて利用する前払式支払手段です。スマートフォン以外の携帯電話およびタブレットではご利用できません。

※QUOカードPayには有効期限がありますのでご注意ください。

### 対象となるサービス

・日本農業新聞電子版(有料版)

### 対象者・適用条件

下記の条件をすべて満たしている方

- ・2024年4月1日から2025年2月28日までに日本農業新聞電子版を契約いただいた方(6か月以上契約・または予定) ※紙から電子版への切り替えも含む
- ・キャンペーン応募締め切り時点(2025年3月17日)で電子版をご購読している方
- ・特設サイトからご応募いただいた方
- ・個人でお申し込みいただいた方 ・北海道在住の方

### キャンペーン応募締め切り

2025年3月17日(月)

### 注意事項

※キャンペーン締め切り後、真正なる抽選から選ばれた50名様に、電子版のご契約状況を確認したうえで、登録されたメールアドレスにデジタルギフトを送付いたします。※キャンペーン締め切り時点で電子版の契約期間が6か月以上でない場合、6か月経過後に送付いたします。※抽選の結果は商品の発送をもってかえさせていただきます。※キャンペーン期間終了後の申し込みは、理由の如何を問わず受けられません。※本キャンペーンの権利を第三者へ譲渡することはできません。※キャンペーンフォーム以外の申し込みはキャンペーンの対象外となります。※本キャンペーンの適用条件は予告なく変更となる場合があります。※本キャンペーンへの申し込みは、条件・注意事項の全てにご同意の上ご応募ください。※必要事項に不備や虚偽があるご応募や、メールアドレス不明等の理由により、デジタルギフトをお届けできない場合は無効とさせていただきます。※申し込み内容によっては、事務局から連絡させていただく場合がございます。※本キャンペーンでお預かりした個人情報につきましては、日本農業新聞が定める「個人情報保護方針」<https://www.agrinews.co.jp/page/privacy>に基づいて適切に取り扱います。また、本キャンペーン実施に当たり、以下において個人情報を使用いたします。①本キャンペーンの応募条件の確認②本キャンペーン特典の送付③本キャンペーン実施に関する当社からの連絡およびお客様からのお問い合わせ対応④統計資料の作成。※デジタルギフトは株式会社クオカードのQUOカードPayにて行います。現金や他のデジタルギフトでのご希望には応えられませんのでご了承ください。※QUOカードPayの配信は株式会社クオカードが提供するシステム(電子メール配信代行サービス)を利用します。送信に当たり、株式会社クオカード(および提携する第三者)に、メールアドレスなどの個人情報などを提供いたしますのでご同意の上ご応募ください。※電子メール配信代行サービスの利用不能、提供遅延、変更、中断、中止、停止、もしくは廃止、提供する情報等の消失もしくは消失等またはこれらにより生じた不利益または損害について、株式会社クオカードに故意または重大な過失がある場合を除き、株式会社クオカードは責任を負わないものとします。※送信メールアドレスは[delivery@pay-email.quocard.jp]もしくは[hokkaido-g@agrinews.co.jp]となります。[delivery@pay-email.quocard.jp]/[hokkaido-g@agrinews.co.jp]からのメールが受信拒否とならないよう、予め設定をご確認ください。※QUOカードPayには有効期限がございます。有効期限が切れた場合、補償などはしかねますのでご了承ください。

お問い合わせ

日本農業新聞 北海道支所

TEL: 011-231-3668 FAX: 011-231-3991  
Email: [hokkaido-g@agrinews.co.jp](mailto:hokkaido-g@agrinews.co.jp)

# 未来を変える。 みんなで変える。

## 国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.87

### 工事が完了しました

令和6年5月から着工した大平地区のほ場について、各工程において受益者の立会等を行いながら

・整地工・暗渠排水工・除礫工 等の工種が全て完了しました。来年度から工事完了後のほ場で営農が行われます。

受益者及び地域の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

#### ◆問い合わせ先

[国営緊急農地再編整備事業に関すること]

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会事務局

(伊達市 経済環境部 農地整備課内) TEL0142-82-6161 (直通)



### 令和6年度 年始営業日程

令和7年1月1日(水)～令和7年1月6日(月)

		1/1(水)	1/2(木)	1/3(金)	1/4(土)	1/5(日)	1/6(月)		
本所	金融共済	×	×	×	×	×		全 業 務 平 常 営 業	
	ATM	×	×	×	×	×			
登別支所	ATM	×	×	×	×	×			
	クミカ窓口	×	×	×	×	×			
	グリーンセンター	×	×	×	×	×			
	機械センター	×	×	×	×	×			
	マーケット	×	×	9:30～17:00		○			
	授精生乳検査	○	○	○	○	○			

### 地区別組合員懇談会日程

令和7年1月14日(火)～17日(金)

日 時	地 区	会 場	
14(火)	10:00	黄金・室蘭地区	はまなす館
	13:30	東地区	未来館
15(水)	10:00	稀府地区	中稀府会館
	14:00	登別地区	登別支所 2F
16(木)	10:00	中央地区	本事務所 2F
	13:30	関内地区	関内福社会館
17(金)	10:00	有珠地区	白鳥館
	13:30	長和地区	ふれあい館



ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

